

令和5年度第1回

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合

一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）審議会

会議録

日時 : 令和5年10月24日（火）
場所 : 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合
クリーンセンターしらさぎ3階会議室

○日 程

審議会

1 正副会長選出

2 議題

- (1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（諮問）
- (2) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の審議会スケジュール案について（説明）
- (3) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（説明）

○出席委員（10名）

会 長	塚本 竜太郎	組合議会議員（柏市選出議員）
副会長	後関 俊一	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
委 員	村越 誠	組合議会議員（柏市選出議員）
	寺本 真理	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
	佐藤 浩	柏市議会議員（建設経済環境委員会委員長）
	小易 和彦	鎌ヶ谷市議会議員（都市・市民生活常任委員会委員）
	鈴木 勲	柏市住民代表（藤ヶ谷区）
	矢崎 博一	鎌ヶ谷市住民代表（鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会委員）
	小金谷 正男	鎌ヶ谷市住民代表（軽井沢自治会会長）
	伊藤 勝	学識経験者（江戸川大学名誉教授・学校法人江戸川学園評議員）

○欠席委員（2名）

委 員	鈴木 實	柏市住民代表（柏市廃棄物処理清掃審議会委員）
	磐田 朋子	学識経験者（芝浦工業大学 副学長）

○説明のための出席者

事務局	芝田 裕美	管理者	
	萩原 勝	事務局長	
	野澤 孝夫	事務局次長	
	栗原 稔	クリーンセンターしらさぎ所長	
	大竹 隆行	クリーンセンターしらさぎ計画係	係長
	松丸 悦卓	クリーンセンターしらさぎ管理係	係長
	岡田 壮玄	クリーンセンターしらさぎ計画係	主査
	高橋 徹	クリーンセンターしらさぎ再任用	
構成市	原 晃一	柏市廃棄物政策課	課長
	中川 聡	鎌ヶ谷市クリーン推進課	課長

○傍聴者 0名

○審議会

1 正副会長選出

委員の互選により実施。

2 議題

(1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（諮問）

管理者から会長へ諮問書の交付。

(2) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の審議会スケジュール案について（説明）

〈会長〉

それでは、議題に入ります。一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）審議会スケジュール案について、事務局より説明をお願いいたします。

〈事務局〉

一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）審議会スケジュール案について説明

〈会長〉

ただ今の説明について、ご質問等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(3) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（説明）

〈会長〉

それでは、次に一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について、事務局より説明をお願いいたします。

〈事務局〉

一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について説明。

〈会長〉

ただ今の説明について、ご質問等はございませんでしょうか。どうぞ。

〈E委員〉

見方が難しく、令和3年と令和4年と5年平均とがぐちゃぐちゃになっていて、明記されていないんです。例えば、ページ52の図は令和3年の話ですね。令和3年の話なんですが、戻りまして、この図も35ページと書いてあるほうだと、令和3年の数値が入っていないんです。そうすると、その52ページに示されている数字は、次の59ページの令和4年とは違うわけです。どこのデータを使ったのか、何年を使ったのかというのを、はっきりしないと分かりにくいんです。ですから、それを直していただくということでお願いします。令和3年で数字を書いた場合は、先ほど言った52ページの図のほうにも数字を入れていただくと、より分かりやすくなるのかなと思っています。以上です。

〈事務局〉

分かりました。ありがとうございます。

〈会長〉

今のところ、よろしいですか。

〈事務局〉

はい。修正いたします。

〈会長〉

はい。ありがとうございます。他にご質問等はございませんでしょうか。

〈F委員〉

すいません。

〈会長〉

どうぞ。

〈F委員〉

基本的なことで申し訳ないんですけども、今回の計画は2019年から2028年までの10年計画で、今回、中間地点の見直しということになっているんですけども、これは、要するに10年計画で、半分の時点でもう次の10年間と、こういうローリングですずっと来ているというふうに理解してよろしいのでしょうか。これからもそういう形で、基

本的には行くということで。

〈事務局〉

はい、そのように考えております。

〈F委員〉

そうすると、その5年ごとの計画じゃなくて、あくまで10年という計画に持っていかなければ駄目な理由って何かあるんですか。

〈事務局〉

前回は10年間で、今回も10年間というところで、過去からのそういった流れみたいなものがあったということと、今回はコロナ禍の影響を受けておりますので、そういった条件の変動がありましたことから、今回も前回と合わせたような形で10年間の計画といたしました。

〈F委員〉

これからも10年で計画を立てて、5年ごとに組み直しをしていくということですね。分かりました。

それから、人口とごみの量というのは、かなり密接に関係あると思うんです。私、鎌ヶ谷なもんですから、鎌ヶ谷市の人口についてなんですけども、人口はやや減ってきているけども、世帯数が増加しているというのがありました。これはどういうことですか。核家族化が進んでいるのか、それとも単身の方が増えているのか、その辺の分析というのか、何か分かりますかね。人口が減っていて、世帯数が6.何%増えている、ということは、どういうことなのかなって考えたんですけども。核家族化が進んでいるのか、単身世帯が増えているのか。そのあたりがどういうふうになっているのか分かれば、教えてもらいたいんですけど。

〈事務局〉

あくまで想定になってしまうんですけども、やはり一人暮らしのご老人ですとか。

〈F委員〉

ああ、やっぱり。

〈事務局〉

あと、一人暮らしの若者も増えてきているのではないかというところですね。

〈F委員〉

ああ、そう。そこまでしか分からないですね。

〈事務局〉

お調べして、次回の審議会でお示いたします。

〈F委員〉

あと、もう1件、いいですか。

〈会長〉

はい、どうぞ。

〈F委員〉

最後のところなんですけども、最終処分量の目標値が年3,000トン以下という目標設定をしているんですけども。これはかなり厳しい目標設定だと思うんですが、そのためにはごみの焼却灰の処理とか資源化を進めるとかしていかないと、多分その3,000トンというのは難しいと思うんですけども。計画の中で、焼却灰についての資源化について言及してるんですけども、具体的にどういう検討をされて、今後どういうふうにしていくかっていう見通しはあるんでしょうか。

〈事務局〉

そちらにつきましても、やはり資源化量を上げるということで、そういった最終処分の埋め立ても行いながら、資源化の量も少しずつ段階的に増やしていこう、こういったことを今、考えております。ここは、そもそもこういった埋め立て量というのは、元々の入り口であるごみの排出量に関わってきますので、その時点での減量化ですとか資源化、そういったものもこれから進めていきたいと思っています。

〈F委員〉

焼却灰の資源化については、まだ、あまり進んではいないっていうことなんじゃないかな。その部分で500トンぐらい減らすってことになっていますよね。

〈事務局〉

はい。前回、計画を策定した時に、灰の資源化を進めようということで、段階的に、初めは少ない量から始めていまして、今年は300トンの予定で来ていまして、一応、現計画の中では、当面は500トンを目指すような計画となっています。

〈F委員〉

そうですね。

〈事務局〉

そこは一つの目安として考えているところです。

〈F委員〉

なるほど。分かりました。

〈会長〉

よろしいですか。他にご質問等はございませんでしょうか。議員さんのほうも大丈夫ですか。

それでは、ないようでございますので、質疑を終わらせていただきます。

この基本計画の策定につきましては、組合および構成団体におきましても重要事項でございますので、今後とも審議を重ねてまいりたいと思います。事務局は本日の審議内容等踏まえまして、今後の審議に必要な資料の作成をお願いいたします。

以上をもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。慎重な審議、ありがとうございました。